

共性を実現すべく、関係所管が連携して進めていく。

今こそ若い世代の支援を!

日本共産党 西の原 ゆま 議員



奨学金返済に関する支援拡充を

【問】大学の学費無償化が世界の流れであるのに対し、日本では学生の約半数が奨学金を利用し、卒業と同時に借金を背負って社会に出ている。区内で生まれ育ったある青年労働者は、日本学生支援機構の無利子奨学金を借り、40歳手前まで続く返済に今も不安を抱えている。

現在、区で実施している奨学金の返済支援制度は、在学中の学生のみが対象で、働きながら返済している若者は対象外である。既に返済中であっても支援制度の対象とすべきではないか。

【学校運営】現在、足立区育英資金を返済中の方への新たな支援策の検討に着手しており、対象者についても、今後の足立区育英資金検討委員会等で議論していきたい。



給付型奨学金をより多くの学生に

【問】昨年度から始まった足立区独自の給付型奨学金制度は、ニュースでも取り上げられ大き

は、地域の要望も踏まえながら多角的な視点に立ち、時機を捉えて適切に見直しを図っていく。

な話題となった。当初計画の定員20名から40名に枠を広げはしたが、31名の応募に対して支給

日本維新の会足立区議団

行財政改革と次世代投資で

足立区の未来を明るく!

日本維新の会 川村 みこと 議員



身を切る公約への区長の考えは

【問】近年の非正規雇用者の急増等によって退職金を受給できない区民は少なくない。区民が厳しい生活を強いられている中、

北区长は退職手当を全額カット、品川区長は2割カットする等、2千万円を超える高額な退職手当を自らカットする区長が増えている。このような取り組みについての区長の見解を伺う。

【区長】北・品川両区長が退職

手当のカットを公約にして当選したことは認識しているが、自らの政治信条を掲げて選挙を戦ったことについて意見を述べる立場にない。自身も選挙において公約を掲げて戦ってきたので、その公約実現に向けて日々努力していくことに尽きる。

多子世帯へ手厚い支援の実施を

【問】葛飾区では多子世帯支援策として三人乗り自転車購入費

は43名に留まり、狭き門となっている。学生の進学したい、学びたい思いを応援するため、更に枠を広げるべきではないか。

【学校運営】給付型奨学金の給

付対象者枠の拡大については、今回は定員40名に対し、弾力対応で43名を決定した。高額な費用を全額給付する制度のため、限られた予算内でどこまで枠の拡大が可能か、今後の応募状況等を見ながら柔軟に対応したい。

【子ども】子育て家庭の経済的負担軽減を図る支援は重要であると考えており、三人乗り自転車購入費助成については葛飾区の実施状況を確認していく。

助成を行っているが、足立区では同事業の導入を求める声に対し「実施しない」としてきた。

足立区議会議会改革を全力で推し進める会

人を大切に足立区へ

公共の担い手を守れ!

議会議改革推進 土屋 のりこ 議員



【問】学童事業において人的措置等がなされていなかったため

あれば、監査・指導をしてきた区も、事業者と共に是正計画を考え改善策を導き、必要に応じて「ヒト」「モノ」「カネ」を行政の責任として出すべきと思うが、区長の考えはどうか。

【区長】本事業発覚後、当該事業者と継続的に面談を行い、確認作業方法について協議の上、

決定した。区としても、今までの確認作業が機能していなかったと言わざるを得ず、責任は重大であると認識している。今後

しかし、両区は隣接し同じ沿線に北千住、綾瀬、亀有、金町駅がある等、子育て世帯が住居を選ぶ上で間違いなく比較対象となる。子育て世帯に細やかな支援を実施し、担税力のある世帯に魅力を感じてもらおう事業を打ち出す必要があるが、三人乗り自転車購入費助成の実施について、改めて区の見解を伺う。

【子ども】子育て家庭の経済的負担軽減を図る支援は重要であると考えており、三人乗り自転車購入費助成については葛飾区の実施状況を確認していく。



「カネ」について検討したい。

【問】区の委託・指定管理等事業において、有資格者が働くモチベーションを維持できる賃金が保障されているか、生活を守ることをどう担保するのか伺う。

【地域】学童保育室では資格の有無で賃金単価に差を設けているが、引き続き見直しを進めていく。子育てサロンでは、他区の賃金単価と比較して安価な

都民ファーストの会足立区議団

誰もが安心して暮らせる

住みたくなるまちあだちへ

都民ファースト 佐藤 あい 議員



子育てしやすいまちづくりを

【問】産後ケア施設は母親の心と体をケアする貴重な場所であり、区内初の宿泊型産後ケア施設の実現で救われる家庭も増えてはいるが、未だ出生数に対して施設数は多いとは言えない。産後ケア施設を更に拡充し、地域格差を減らすよう検討すべきと考えるがどうか。

【衛生】今後も区内に宿泊型産

後ケア施設を増やせるよう、各医療機関に働きかけるとともに令和6年度に開設される「すこやかプラザ あだち」においてデイサービス型が実施できるよう準備を進めていく。

梅島・梅田地域を「豊かで快適な安全安心なまち」に

【問】過去に類を見ない大型台風や想定を超える異常気象等により、多くの区民が不安を感じている。特に梅島・梅田地域は、

め、令和6年度に向け見直ししていく。こうした見直しにより、委託等で働く労働者の生活を守る賃金が保障されるよう努める。



【危機管理】「梅田八丁目複合施設基本構想・基本計画」に記載のとおり、水害時の垂直避難場所としての検討を予定している。第一次避難所として開設運営する上では、地元町会・自治会の理解や協力が不可欠となるため、地域の意向を踏まえ検討していく。

足立区議会議会立憲民主党

バスの減便等による交通不便

解消に向け早急に対策を

立憲民主党 銀川 ゆい子 議員



【問】コミュニティバスはるかの相次ぐ減便や京成バス北千住線の廃止予定等、現在、区内のバス路線は危機的な状況にあると言わざるを得ない。高齢者をはじめとする区民に交通不便が広がり始めていることへの区の考えを伺う。

【都市建設】現在、区に対しても地域住民から様々な要望等があげられ、これまで以上に交通不便を感じる区民が増えている



【問】委託運行をしているコミュ

【問】委託運行をしているコミュ



【問】委託運行をしているコミュ